

平成18年10月分電力需給状況

需要の概要

平成18年10月の販売電力量は、22億6百万kWh時、前年比 99.4%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、前年9月の残暑の反動などから、前年比 93.0%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、堅調に推移し、前年比 103.8%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、機械などが前年を上回ったことから、前年比 105.9%となった。

電灯等の低圧需要の検針期間は、前月(9月)の検針日～当月(10月)の検針日の前日までの1ヵ月間である。
業務用・大口等の高圧・特高需要の検針期間は、当月(10月)の1日～月末までの1ヵ月間である。

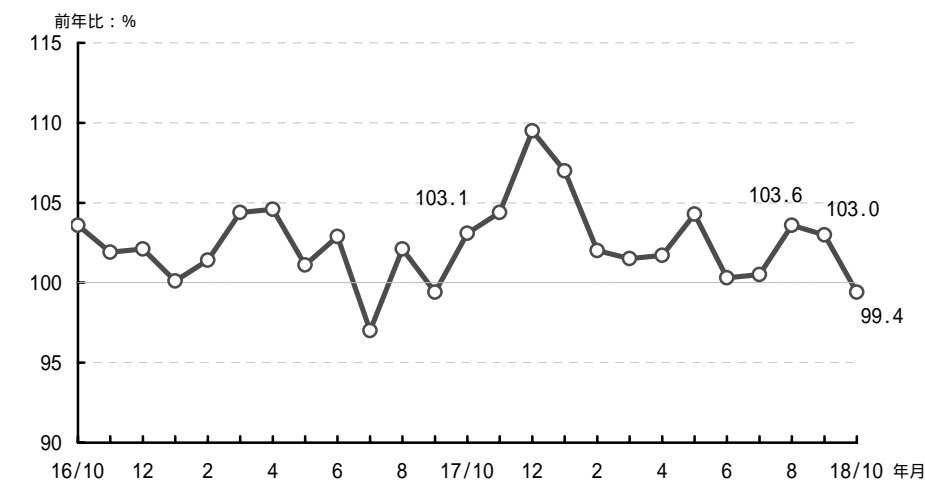
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	639	93.0
	電 力	151	87.1
	計	790	91.8
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	488	103.8
	産業用電力	928	104.5
	うち大口電力	(724)	(105.9)
	計	1,416	104.3
販売電力量 計		2,206	99.4
融 通		615	91.9

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		18/10月	18/9月	18/8月
紙・パルプ	129	111.8	111.5	113.0
化 学	164	104.6	106.0	108.5
鉄 鋼	83	96.7	108.1	78.5
機 械	143	104.4	102.9	108.9
そ の 他	205	108.8	105.8	108.2
合 計	724	105.9	106.3	105.7

(参考2) 4県都平均気温

	18/9月				18/10月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	25.9	24.0	22.6	24.2	21.2	20.9	19.4	20.5
平年差	0.3	0.1	0.7	0.4	1.0	2.3	3.0	2.2
前年差	0.9	2.3	1.5	1.5	1.7	0.2	2.9	0.6

供給の概要

- 原子力は、定検の影響により、前年比 112.7%となった。
- 水力は、渇水の影響などにより、前年比 77.3%となった。
- 火力は、原子力の増加などにより、前年比 93.5%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比	備 考
原子力	(40)	1,234	112.7	出水率 59.3% (17年10月出水率 55.7%)
水 力	(6)	178	77.3	
火 力	(54)	1,689	93.5	
発受電計	(100)	3,101	99.0	
その他		18		
供 給 計		3,083	100.0	

注：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(99.1) 511	(98.5) 363	(99.5) 769	(100.3) 563

注：()内は前年比